



明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25-2141

城北地区人口

世帯数	2,895 (+7)
人口	6,484人(+11)
男性	2,994人(+7)
女性	3,490人(+4)

(平成24年6月1日現在)

(カッコ内は平成24年5月1日比)

新会長に鈴木巖さん 城北コミュニティ総会

城北コミュニティ「明倫の里 城北」では、平成24年度総会を5月20日、明倫センターで開催。代議員77人が出席しました。

細谷達則会長のあいさつ、宮川明広副市長ら来賓祝辞の後、議事に入りました。会議では、平成23年度の事業報告・



24年度 総会

会長就任にあたって

鈴木 巖

このたび会長に就任し、大きな重圧を感じており、十分な任を果たすことに一抹の不安があります。

「明倫の里 城北」の会則に、城北地区地域住民の自主性を尊重し、信頼感に基づく

城北コミュニティ
24年度 総会

決算報告や平成24年度の事業計画・予算案の審議などがあり、いずれも原案通り承認されました。23年度決算額は、約326万円。24年度予算は約324万円です。また、会則の一部変更も認められました。

最後に役員改選があり、新会長に鈴木巖副会長を選任、細谷さんは顧問に就任することが決まりました。城北コミュニティの会長は会則により、城北地区連合自治会長が就任することになっており、鈴木さんは、5月13日の連合自治会総会で会長に選ばれました。

細谷さんは平成10年の城北コミュニティ設立以来、会長を務めてきました。

このほかの役員も一部異動がありました。役員一覧表をご覧ください。

城北コミュニティは自治会をはじめ地域の各種団体で組織され、これらの団体が協力して運営に当たっています。

24年度事業計画

平成24年度城北コミュニティの主な事業は次の通りです。(紙面の都合上すでに実施済みのは割愛しました)

【総務部会】第16回ほくほくふれあいまつり、第13回城北明倫まつり

【広報部会】広報紙「ともしび」年4回発行、ホームページ運用、CVC(中讃テレビ)データ放送送信

【文化部会】地域いきいき講座、人権標語募集、人権広報紙「こころ」発行

【福祉部会】一人暮らし老人、寝たきり高齢者の友愛訪問、障害児の激励、一人暮らし老人にほくほくふれあいまつりバザー券配布、福祉施設への作業奉仕

【環境部会】緑道公園の清掃、親子ハゼつり大会、土器川の清掃クイズ大会、ゴーヤ栽培・料理講習、防犯パトロール隊意見交換会

【保健部会】すくすくクラブ、健康教室、健康相談、料理教室、ほくほくふれあいまつりで血管老化度測定、幼稚園・保育所の行事参加

【体育部会】室内ベタンク大会、ラジオ体操、飯野山登山、ほくほくふれあいまつり運動場部門企画・運営、ソフトバレーボール大会、丸亀城ウォーキング

行していくことこそ活力ある明倫の里城北になるのです。

退任あいさつ

細谷 達則

会長在任十数年、大きな事故もなく城北地区が運営されたと 생각합니다。それも住民の皆様のご協力とご援助のおかげと思っています。この間に

いろいろなことがありました。が、▼城北コミュニティセンター建設▼一市二町の合併で11万都市となる▼私個人、平成22年藍綬褒章受ける。以上三つはいつまでも大きく心に残る出来事でした。これから先も元氣のあるかぎり、地域のため頑張ります。

「チャレンジデー」

勝利!!

5月30日に「チャレンジデー2012」が全国一斉に行われました。これは、人口規模がほぼ同じ自治体や地域同士が、15分以上連続して運動した住民の参加率を競うスポーツイベントです。

丸亀市では、東中学校区の城北・城乾・城東地区が初参加して熊本市の出水南小学校区と対戦しました。

城北地区では、老人会の会員110人程が緑爽やかな丸亀城周辺を歩いたり、児童や保護者、住民500人近くが城北小学校で、ラジオ体操を行ったりました。また、自治会や団体、個人でも体操や清掃・買物時にウォークを行うなどしました。



元気にウォーク

その結果、東中校区は参加率71.4%、出水南小学校区41.

1%で大勝利となりました。チャレンジデーに参加して地域の連帯力を感じるとともに、運動をする心地よさを体感することができました。これを機に、多くの人が生活に運動習慣を定着させることになればよいと願います。



地域ぐるみでイチ・ニッ・サン

県議団10人が防犯パトロール隊を視察

5月28日に明倫センターで、県議会議員10人と県庁職員25人が、城北防犯パトロール隊の活動について視察に訪れました。

鈴木会長のあいさつに続き、

近藤部会長がプロジェクターを使って、城北防犯パトロール隊の活動内容を発表し、パトロール隊員からは「止まれの標識の位置が分かりにくい」、「土器川の土手を下りたところの一方通行が分かりにくく、逆走車があり危険」、「顔馴染みになった子どもたちが、あいさつをしてくれるのが嬉しい」、「歩くことで健康が保てるため、万歩計を携帯してパトロールしてはどうか」などの意見が出ました。

時間は短くても充実したひと時でした。(環境部会)

◆平成24年度 城北コミュニティ役員

- | | | | | | | | |
|----|---------|-----|---------|----|---------|-------|---|
| 会長 | 鈴木 巖 | 副会長 | 馬瀬 實 | 顧問 | 細谷 達則 | 環境部会長 | (再・民児協) 近藤 照司 |
| | (新・自治会) | | (新・自治会) | | (新・自治会) | 保健部会長 | (再・自治会) 中野実千代 |
| | 鈴木 勝榮 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 体育部会長 | (再・城北愛育班) 佐野 洋 |
| | (再・婦人会) | | (新・自治会) | | 鈴木 勝榮 | 広報部会長 | (再・自治会) 若松 幸代 |
| | 山崎 隆史 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 事務局長 | (新・自治会) 砂本 健 |
| | (再・自治会) | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 会計 | (再・自治会) 林 紘史 |
| | 山崎 隆史 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 監事 | (再・自治会) 津治 義秀 |
| | (再・民児協) | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 同 | (再・老人会) 北本多壽子 |
| | 小谷 矯 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 書記 | (再・自治会) 尾松 静子 |
| | 小谷 矯 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 同 | (新・自治会) 片山 和雄 |
| | 小谷 矯 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 同 | (再・コミュニティセンター) |
| | 小谷 矯 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 同 | 【城北地区連合自治会役員】 |
| | 小谷 矯 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 同 | 会長 鈴木巖 (新・北平山町) |
| | 小谷 矯 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 同 | 副会長 馬瀬 實 (再・城胡自治会) 林紘史 |
| | 小谷 矯 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 同 | 実 (再・城胡自治会) 林紘史 |
| | 小谷 矯 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 同 | (新・葭町自治会) 〓会計 〓 |
| | 小谷 矯 | | 山崎 隆史 | | 鈴木 勝榮 | 同 | 小山安造 (再・大倉団地自治会) 〓監事 〓近藤照司 (新・城東町西部自治会) 砂本健 (新・土居町二丁目自治会) 〓顧問 〓細谷達則 (新・土居町二丁目自治会) |

【城北老人クラブ連合会】会長 〓細谷達則 (再) 〓副会長 〓山田登 (再) 藤田登茂子 (再) 〓会計 〓藤田要 (再) 〓監査 〓篠原敏明 (再) 玉井義一 (再)

【城北婦人会】会長 〓鈴木勝榮 (再) 〓副会長 〓塩田文江 (再) 〓中野実千代 (再) 〓会計 〓中野裕子 (再) 〓佐野ルイ子 (新) 〓書記 〓山地英子 (再)

宮川恵美子 (新) 〓監査 〓高木富子 (新) 高畑玲子 (新)

【城北愛育班】班長 〓中野実千代 (再) 〓副班長 〓鈴木勝榮 (再) 〓大口喜美子 (再) 〓佐々原朋美 (再) 〓会計 〓中野裕子 (再) 〓塩田文江 (再) 〓書記 〓宮川恵美子 (再) 〓岡田みどり (再) 〓岡本京子 (再) 〓監査 〓山地英子 (再) 〓高木富子 (再)

【城北地区連合自治会役員】

会長 鈴木巖 (新・北平山町)

副会長 馬瀬 實 (再・城胡自治会) 林紘史 (新・葭町自治会) 〓会計 〓

小山安造 (再・大倉団地自治会) 〓監事 〓近藤照司 (新・城東町西部自治会) 砂本健 (新・土居町二丁目自治会) 〓顧問 〓細谷達則 (新・土居町二丁目自治会)

ほくほくまつり開催日決定

「第16回ほくほくまつり」が例年のとおり、城北小学校で10月7日(日)開催することに決まりました。

施設 植樹の桜を見る

4月13日、城北コミュニティ環境部会20人参加のもと施設見学会を行い、資源ごみ処理場の「クリーンセンター丸亀」、不燃ごみ処理場の「エコランド林ヶ谷」を訪ねました。また、満濃池近くの「ふれあいの森」にも立ち寄り、14年、19年にかけて植樹した桜の生育ぶりを見学に行きました。



だれの木?

クリーンセンター丸亀の職員からは、「空き缶が潰れていると処理が難しいので、空き缶は潰さないで出す」「蛍光灯も4月から資源ごみになったので、新聞紙や包装資材に包んで専用ケースに出す」などの説明がありました。

また、植樹した桜の育成ぶりは、背丈ほどに育った木もあれば、雑草に紛れて分かりにくい木や、うさぎに幹を食

べられるのを防ぐため筒状のカバーをしてある木もあり、自然の厳しさを感じ、資源、植樹の大切さを感じた一日でした。

(環境部会)

新・平山保育所オープン

5月1日にオープンした平山保育所を訪問してきました。一歩足を踏み入ると、木の香りがプンプン…に感激!! 床はコルク材で、音を吸収し、クッション性があり、子供の安全を重視している事を実感しました。

廊下には広いホールがあり、本を読んだりままごとをしたり、ハウスにかくれたり、楽しそうです。1歳児の部屋からは芝生庭へ出られます。保育所の新築工事中には、子どもたちは先生のはからいで時々見学に行き、でき上がる様子を見ていました。そして期待に胸をふくらませての完成なので、

♡みんなの保育所ができた♡
ととても喜んでるようです。

6月16日の運動会は、落成祝いをこめて盛大に行われました。

「今後、この立派な設備を生



だれをかけたのかな

かして使用していくには、保護者とも相談しながら、子どもにとって最善の環境になるよう、新しい園舎に魂を入れるのは私たちの仕事です」との真鍋輝美所長の熱い言葉を聞き感動し、平山保育所発展を願い、園舎をあとにしました。

美術館ふれあいウォーク

あいにくの小雨となった5月25日、城北幼稚園の空組・月組の計37人と一緒に手をつなぎ、猪熊弦一郎現代美術館まで元気歩き、開催中の塩田千春「私たちの行方」を鑑賞してきました。

子どもたちは、10歳もある白いドレスの上で、血管のように見えるチューブの中に赤い液体が動いているのと、作

品に驚いた様子でした。

また、暗い部屋の中で、プールに舟をふたつ浮かべ、上からシャワーのように水が落ちてきたり、旅行カバンを200個以上も階段のように積んでいたたりしたユニークなものもありました。

子どもたちが座って見ていると大きさに圧倒され怖そうに見え、立って見ていると怖さが鈍くなるような感覚になる作品もあり、子どもたちは「宝物入れ」「かきがある」「階段」など、印象はさまざまのようでした。(城北愛育班)



いのくまはなんて、おもしろいな

陽春の家族ハイキング

城北コミュニティ主催による家族ハイキングが4月8日に大人54人、子ども21人の参加で開催されました。

爽やかな春風に誘われて、ホーライ橋南側の河川敷から



頂上までとおいな

第24回いきいき講座のご案内

日時	9月28日(金) 13時30分~15時
場所	明倫センター講座室
内容	よくわかる食品と環境 ~環境にやさしい食生活を 考えてみよう~
講師	中・四国農政局高松地域センター 谷本 健 管理官
	多数の参加者を願っています。

今年春の訪れが遅れたせいか、七分咲きの桜でしたが、子どもたちはにぎやかにはしゃいでいました。

好天に恵まれて、のんびりした一日を過ごすことができました。(体育部会)

出発して、途中青の山墓地公園で休憩をとり、一路山頂を目指しました。

学園の現場から

土居保育所

所長 児玉貴美子

土居保育所は、今年度末に六十回の修了式を迎えます。また、昨年度末にはちょうど千人の修了児を送りだしており、修了児及び保護者の皆様にとって思い出多い保育所になっていることと思います。

今年度最初の行事として、お城まつりがありました。お城まつりは、一年毎に幼稚園と交代で参加しており、今年は、保育所の順番でした。前日まで続いた雨が明け方まで



パレードのあとお城をバックに

城北コミュニティだより「ともしび」編集・広報部会

止まず心配しましたが、みんなの願いが通じたのか、スタート直前にはカラリと晴れ、五月晴れの中キッズ大パレードが開催できました。「愛でつなごう みんなのこころ」をテーマに土居保育所の四・五

歳児も中央・平山保育所の子ども達と一緒に参加しました。大手門前をスタートして商店街を通り市役所までの長いコースでしたが、

元気な土居っ子たち

長いコースでしたが、沿道の声援に応え、さすが土居っ子達は大はりきり。五歳児はキラキラのボンポンを手に、四歳児は土器川をイメージした青い布を持ち、最後まで元気いっぱいパレードしました。ゴールで記念写真を撮った後、お迎えの保護者に向かっの満面の笑顔は、自信に満ちて、とても頼もしく思え感動的でした。

これからも納涼の夕べ、プール遊び、婆婆羅まつりの度に、園庭からは、土居っ子達の明るい歓声が響くことでしょう。今後も地域の皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

記念日 歳時記 鉄道

大きな災害のたびに課題となるのがライフレイン問題です。鉄道、電気、水道、ガス、通信

などです。あまりにも身近な存在となつているライフレインですが、「温故知新」の一助に、と考え郷土での成り立ちを「記念日歳時記」としてまとめました。まず鉄道から。(K)

◆食堂車も登場

丸亀に鉄道が初めて開通したのは明治22年5月。讃岐鉄道会社が丸亀―多度津―琴平間16・4キロを建設したもので、丸亀は今風に言えばターミナル駅でした。当時の駅は現在より西寄りになりました。

◆ドイツ製機関車で一日8往復

丸亀―琴平間を約50分で結び、乗客はもっぱら金刀比羅宮の参拝者でした。

讃岐鉄道会社は明治30年2月、丸亀から高松まで延長。食堂車を連結、女子従業員を乗務させるなど営業を活

発化させましたが、収益が上からず明治37年山陽鉄道に買収されました。山陽鉄道も明治39年に国有化の道をたどります。

◆チンチン電車

もう一つの交通網として健闘したのが琴参電車。坂出―丸亀―普通寺―琴平、多度津―普通寺の路線を持ち、「チンチン電車」の愛称で親しまれ、金刀比羅宮の参拝者の重要な足となりました。

明治44年9月、讃岐電気鉄道株式会社が大阪で設立され、大正11年1月、本社を丸亀に移し、社名を琴平参宮電鉄に改めました。その年の10月、



昭和38年廃止直前の琴参通町電車停留所 絵・村上 泰郎

丸亀―普通寺間7・1キロが開通、順次路線を広げました。一時は高松まで路線延長も計画されるほどの好況ぶりでしたが、自動車時代の波をかぶり、昭和38年9月15日すべての路線を廃止しました。通町商店街南の堀端にあった通町停留場のにぎわいをご記憶の方はまだまだ多いと思います。

あとがき

節電の夏です。緑のカーテンで強い日差しを遮り、こまめに電気のスイッチを切り、エアコンの温度を上げるなどの対策に取り組んでおられると思います。この夏、四国でも電力不足が懸念されています。一人ひとりが、どうすれば電気の使用が抑えられるか考えてみましょう。

今号から編集スタッフが一部代わりました。第60号から編集長（広報部会長）を務めていました香川宏さんが退任されました。お疲れさまでした。(若松)

城北コミュニティセンターの名称を「ともしび」